



# 樹妙だより

No.205 2023/10.11



生徒会長に立候補した生徒の選挙ポスター（各生徒が作成）

## 慈悲喜捨

長かった残暑が過ぎて、自然の彩りに囲まれる10月を迎えました。

10月は、英語で「October（オクトーバー）」ですが、これに似た英単語に、「octopus（オクトパス）」があります。この二つに共通しているのは、“octo”で、ラテン語で「8」を表します。“pus（パス）”は「足」を意味するので、「Octopus」は、8本足になります。そうすると、なぜ「October」は10月なのでしょう。それは、ローマの暦に由来していると言われています。

ローマの暦は、3月が1年の始まりなので10月は8番目になります。“ber”は「～番目」を意味するので、「8番目の月」で“October”と表すようになったということです。なお、1月～8月は神様の名前や皇帝の名前が由来となっています。1月のJanuaryは、ローマ神話の「出入り口と扉の神」とされる「ヤヌス（Janus）」、2月のFebruaryは、「月と贖罪（しょくざい）の神」である

「フェブルウス（Februus）」が由来です。フェブルウスは、古代ローマで戦争で亡くなった戦士の霊を弔う、“Februa（フェブラ）”というお祭りが毎年2月に行われ、その主神がフェブルウスであったことから2月がFebruaryになったと言われています。

また、新たな発見として、私の誕生月は2月ですが、慰霊祭の主神である「フェブルウス（Februus）」は、冥界の王と言われる「プルート」でもあると記されていました。それは、私が子供の頃に見ていた、手塚治虫先生の「鉄腕アトム」に登場する100万馬力の大型ロボットの名前で、その意味が冥界の王であったことを今回初めて知りました。

季節は秋となり、一人ひとりが、新学期に掲げた目標を達成するために最も適した時を迎えました。意欲的に学び、よりよい成果へつなげていきましょう。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長  
野口秀樹

今年の夏は暑い夏でした。毎日猛暑日の更新、真夏日の更新、そんな中、生徒たちは真っ黒になりながらそれぞれの目的に向かって頑張っておりました。

「青春真っ只中」大事なこの時を彼らは見事に燃焼しております。

嬉しいですね

暑さ寒さも彼岸まで、秋がやってまいりました。

秋は食欲の秋、実りの秋、スポーツの秋、芸術の秋、行楽の秋、このように秋を表す言葉は数多くあります。

自然がさらに豊かになり、私たちの心まで豊かにしてくれる季節です。

身体全体でこの大自然のご恩をいただいて、生徒たちとともに成長してまいりたいと存じます。

仏教の言葉に「四恩」という言葉があります。四恩とは4つの恩を表しております。

父母の恩、人々の恩、社会の恩、仏の恩であります。

若い人たちに「恩」など言いますと、「僕は私は、誰にも迷惑をかけて生きてないから関係ありません」などと言われてしまいそうですが、恩は沢山受けているのであります。

私も若い頃は、親や先生に対して「うるさいことばかり言って本当にやんなっちゃう」と思っておりました。

国や社会に対しても「政治家が悪い、世の中が悪い」と思い通りにならないことは社会に責任転嫁をして現状から逃避したりしておりました。

今考えると実に恥ずかしい、自己中心的なとらえ方をし、軽薄に言葉を吐いていたのであります。

まずは両親から命を頂戴したのであります。お陰様でこの世界に誕生することができました。この世に生まれないという結果も考えられたのですが、生まれることができた。これは私にとって大変な喜びでありました。そればかりか育てていただいた。そして大きくしていただいた。

このご恩があったので愛する人にも巡り会え、仲間達とも会え、仕事を通して生徒たちや地域へのお役に立つこともできるようになった。

親の恩、本当にありがたく思います。

人々の恩で生かさせていただいていることをしみじみ感じております。

私はお米一粒でも自分の力で作れないのです。大好きなマグロ一匹とれないのです。お刺身一口分も自分で作れないのです。毎日飲んでいる緑茶、紅茶さえも作れないのです。

私が毎日着ている衣類も私一人では作れないのです。あまりにも多すぎますが、日々口にする食べ物は、それを畑で育てる人、海や山から取ってくる人、それらをあらゆる場所に届ける人、調理する人、色々な人が関わってようやく口にすることが出来ている。

この世の中、それぞれが何かしらの役割を持ちながら、人と人、人と動植物などが、目に見える所、見えない所でお互いに支えあい、助け合いながらこの世を生きている。これは誰にも否定できないこの地球上の大事なシステムであります。

夜安心して毎日寝ています。火災や泥棒などの心配がない。当たり前すぎて感じたことがありませんが、日本の治安が維持されている。消防署や警察署のおかげ様で私たちは守られているのです。これらはほんの一部ですが、社会の恩で守られている。

それでは仏の恩とは何なのだろうかと考えてしまいます。これの説明が一番難しい。仏教徒ではないし、「そんなの関係ねー」で片付けられそうですが、仏教を開いたお釈迦様が、「人間はどなたでも完成された人間になる種（無限の可能性）を持っている」と断言されたことになるとは思いません。

私たち一人一人に周りを輝かせ、皆を喜ばせる、そして自分も皆も幸せになっていく種を授かっている。そしてその道をお釈迦様は丁寧に示された。これが仏教の教えであります。

これによって人間は生きる喜びを感じながら使命に向かえるようになった。

・・・こんな恩なのではないでしょうか。

恩は「恵み」です。人は自分で感じようが感じまいが恵みはいつも与えられている。不平不満を言っている私にもいつも注がれている。

これに気がつけると、こんな私でももっと豊かになれるのは間違いなし。

合掌



## 暑い夏を過ごして

九月も下旬に入る時期になるのに、まだまだ真夏日、猛暑日が続く。今年はずでに、年間の猛暑日数が過去最高を更新したと、ニュースで聞くにつけ、ただただうんざりするだけである。

偶然にも、担当学級の授業で、「地球温暖化」を話題にした題材を扱った。「京都議定書」を知らない生徒がいたことに「時代を感じるなあ」と思ったものだが、今の子どもたちには「SDGs」の方が身近なのだろうと思い直しつつも、知識、また、意識として知らせておこうと考え、授業を進めた。

改めて「京都議定書」について確認し直すと、「気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書」という長い名称がついており、「先進国等が約束期間において数量化された約束に従って温室効果ガスの排出を抑制または削減すること等を定める」ものとされている。署名が1997年12月、発効が2005年2月である。世界第二位のCO<sub>2</sub>排出国である米国が批准を拒否するなど問題はあったが、世界が地球規模の環境問題の解決に向けたべき姿勢を示す取り組みとしての評価は、一定量なされているようだ。

これらのことから考えられるのは、人々の意識としては、更に以前から、「このままで地球は大丈夫なのか？」という意識があったということだろう。あるいは、気候変動の影響を大きく受けている一部地域が存在するということだ。よく引き合いに出されるのが「ツバル共和国」であろう。海拔の最も高い地点が5メートルしかないこの島嶼国では、地球温暖化による海面上昇の影響で、いずれは島が水没するのではないかと懸念が示された。その真偽は現在でも様々に調査や研究がされているようだが、「このままで……」との意識を多くの人々が共有する契機にはなったと思われる。ツバルの人々にとっては「それどころではない」だろうが。私も、ニュース特番だか何かで見たことがある。常夏の美しいビーチに、軽石や貝殻を積み上げる老人。何をしているかといえば、「このままでは島が波の下に沈んでしまう。」と。つまり、「小さな小さな堤防」を作っていたのだ。島の未来のために。これは非常に切なくなる映像だった。

たとえ一朝一夕に島が無くなることはないにしても、このままでは地球上で大きな問題が生起することはまず間違いない。やはり何とか対策をしなければならない。しかし、何

をどうすればよいのか？ その一つの取り組みが「京都議定書」だと言えるだろう。

また、それよりも更に大切なもの、それが人々、それこそ「個々人の意識」ではないか。節約する、ムダを無くす、使えるものを再利用する、などの取り組みはもちろんだが、「地球環境が現状どのようなものであるか」「現在の自分達の生活行動はこれでよいのか」ということについて、「常に」意識しておくことが大切であるような気がする。何も昔の修行僧のような節制を、というわけではないが、現状の生活の中で、何であれば削れるのか、どの部分ならさらに改善ができるのか、色々と考えることはできるはずである。

極めてありきたりの、また、漠然とした意見であることは承知している。しかし、考えてみて欲しい。人々が、上記のような意識を「持たなかったとしたら」どうなるか。自明である。「結局、人の良心に頼るほかないのか。しかし、それが最も難しいことではないか。」というのが、教材の結びであったのだが、だからと言って、何もしないわけにはいかない状況に置かれているのが、現代の我々ではないのか。暑い夏を過ごしつつ、そんなことを考えてみた。

〔編集子〕

十月の法語

近くて 見がたきもの わが心

空海

十一月の法語

振り向けば

ご恩を受けし

人ばかり  
寺内大吉

# 新生徒会の意気込み

8月29日に生徒会選挙が行われ、9月1日に新年度の生徒会メンバーが発表されました。そのメンバーの意気込みを紹介します。



## 生徒会 会長 2年K組 岡柳 翔

新しく生徒会長になりました、岡柳翔です。我々生徒会は、樹徳高校を「生徒主体の学校」、そして「群馬県で一番楽しい学校」にするために、第2期生徒会メンバーで活動を開始しました。そこで早速、皆さんにお願いします！

1. 皆さんの意見を集めるべく「生徒会ボックス」を設置します。生徒会ボックスには、どんな小さな意見でもよいので、皆さんが、樹徳高校を盛り上げるために必要だ、と思う案を書いていただきたいと思います。
2. 樹徳高校をより楽しく、有意義な学校にするために、我々生徒会の側からもアンケートを行い、皆さんの意見を聞くことがあります。その際は、ぜひ率直なご意見をお願いします。
3. 様々な行事に、「実行委員会」を設置する予定です。これは、生徒側が率先して企画、活動を行うためです。これらは時期が来たら、募集の声かけをしますので、皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。

以上、まずは3点を挙げてみましたが、皆さんの意見を集約し、さらに活動の幅を広げていきたいと思えます。樹徳高校を卒業する時、「最高の学校だった」「樹徳に来て良かった」と思えるように、共に樹徳高校を盛り上げていきましょう！



## 生徒会 副会長 2年J6組 岸 士童

この度、生徒会副会長を拝命いたしました、2年J6組、岸士童です。

選挙演説の際にもお話ししましたが、私は、歴史あるルールの変更には、多大な時間と労力が必要であることを、前回の経験から認識しています。そのため、校則の改正改善などの仕事を行う上で、生徒の皆さんに様々なご協力をお願いする場面が出てくると思えます。できるだけ多く意見を吸い上げ、それらが反映されるよう生徒会も頑張りますので、皆さんもご協力よろしくお願いします！副会長として生徒会をサポートし、樹徳高等学校が、さらに生徒主体の学校になるよう、全力で取り組んでいきます！応援のほど、よろしくお願いします！最後に、投票して下さった皆さん、ありがとうございました。



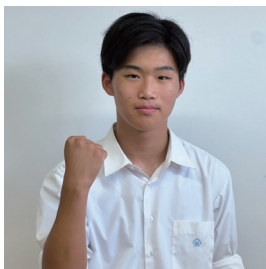
## 生徒会 副会長 1年K組 天沼 剛己

皆さんこんにちは。この度、第二期生徒会副会長に就任した、1年k組の天沼剛己です。これから一年間、新生徒会として生徒の皆さんのために働きます。私は、樹徳生の意見を実現できる生徒会を作ろうと思い立候補しました。樹徳高校を、たくさんの新入生が入学してくるような学校にしたいのです。そのために何をするか。様々な公約を達成するため、その一つ一つに対し、生徒会メンバー全員で協力して取り組んでいきます。私は生徒の意見を取り入れるために、まず、皆さんにアンケートを行い意見を求めることにしようと思えます。その際には素直な意見を聞かせて下さい。これから一年間、ご協力お願いします。



## 生徒会 書記 2年K組 吉満 律稀

私は今期の書記就任に際し、前年度も生徒会に務めていた経験を活かし、全力で新生徒会のサポートに注力したいと思います。生徒会の目標である「生徒主体の学校づくり」を意識して、生徒会書記として議事録をまとめ、生徒に公開できる場を作ること、生徒会への関心を高められるよう努力していきます。また、前年度では初動が少し硬かったことへの反省として、少人数生徒会の強みを活かし、密に会議を行うことで前進力の強い生徒会を作ろうと考えています。そして、書記というと地味な役割に思われてしまいがちですが、経験を踏まえて自身の役割を確実に見極め、目に見えるかたちの結果を残してみようつもりです。これから一年間、よろしくお願いします。



## 生徒会 会計 1年K組 田内 京介

私が生徒会に立候補した理由は、樹徳高校を今よりもより生徒主体の学校にしたいと考えたからです。私が思うに樹徳高校は、他の高校と比べてまだまだ伸びしろがあると考えています。具体的には、「文化祭・体育祭の内容や実施期間」、「頭髮指導の厳しさ、また、その印象」、「生徒総会のような生徒主体の動きが最近まで無かったこと」などです。これらはおそらく一般的な高校とは大きく異なり、良く言えば樹徳高校が伝統を長らく受け継いできたとも言えますが、裏を返せば過去から現在まで変化（代謝）がなかったと言えます。私はそんな樹徳高校を、より良くしたいと考えています。生徒会の主導により、生徒の意識を向上させられるよう尽力します。

# 一貫校 中学校 だより

## 6年6色

### 3年生の様子について

3年生（21期生）はいよいよ中学校課程最後の1年です。最上学年として後輩を引っ張る姿が部活動や行事で見られます。21期生の生徒は、今年度、弁論大会では東毛地区大会出場、英語弁論大会では県大会出場、部活動では県大会のみならず関東大会や全国大会に出場するなど多方面で活躍しています。

奉仕の精神を持つ生徒が多く、行事の会場作成の準備を、進んで気持ちよく行っています。また、自主性も育ち、現在は合唱コンクールに向けて自分達で練習内容を決めてクラス一丸となって励んでいます。生徒は金賞を狙い、より練習に熱が入っています。合唱コンクールでは、素敵なハーモニーを奏でてくれることを期待しています。

2学期は合唱コンクールに加え、修学旅行があります。小学校の修学旅行では、コロナ禍で宿泊ができなかったのが、生徒は今回の機会を楽しみにしています。修学旅行では、京都とユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）を訪れます。今回は班行動があるので、各班がテーマを設定してコースを作成しています。旅行の終了後に、研究発表を予定しています。生徒には友情とともに、学びを深める機会にし、多くのよい思い出を作ってほしいと願っています。

学習は、2学期後半から高校内容に入り、高校への橋渡しの時期になります。そして、放課後は全員補習になり、本格的に学習モードに切り替わっていきます。

中高一貫校なので先取り学習で余裕をもって大学受験に備えていきます。生徒が希望の進路に進めるように、私達教員も生徒のサポートをしっかりと行っていきたいと考えています。

3学年主任 保坂 洋実

### 4年生の様子について

4年生（20期生）は明朗活発でとても素直な生徒が多い学年で、さまざまな検定や大会でも素晴らしい成績をおさめています。学年目標は、『基礎基本の確立～高等部での基盤づくり～』を掲げました。

高等部に進級し、半年が経過しようとしています。が、学年の雰囲気がとてもよく、学習意欲も非常に高いと感じています。例えば、英語の取り組みとして、4月当初から朝の英単語テストを毎日実施しています。1学期中の平均点が90%以上の生徒が多く、努力の継続に感心しています。この学年は、中学生の時に単語を覚えることが苦手な生徒は学習方法を英語の教科担任に相談していました。また、2学期からは模試の結果の反省から古文単語テストや特別講義も実施しています。テストはクロームブックを使用しているので、それぞれの生徒の解答や正解率がすぐに把握できます。帰りのHRから補習の時間までの僅かな時間で数学の解法を確認したり、教えあったり、社会の用語を復唱したり、クイズにしたりしながら懸命に学習に取り組む姿がよく見られます。授業で学んだことを自分の言葉で説明できる力は、今後も求められていく力の一つだと思いますので続けてほしいと思っております。

また、今年から新たに「総合的な探究の時間」が始まりました。探究は自己の在り方・生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指しています。今年度は物事の考え方・調べ方・まとめ方などの技術を身に付けます。生徒にとっては自らの進路を自らで切り開くため、今の時期から将来の自分の姿について自分の事として考えていくことで、進路実現を目指していくことになります。

一貫校の先輩をお手本に、みんな笑顔で卒業できるように支援していきます。

4学年主任 進藤 友宏

## ◆高原学校

8月23日（水）～25日（金）の3日間、中学1年生・2年生が高原学校として富士山方面に行ってきました。

樹海散策や富士山登山などの活動を通して、様々な学びを得ていました。

### ＜生徒の感想＞

- ・いやしの里資料館に行ったとき、後ろにいた外国の人に道を譲ったら、日本語で「ありがとう」と言われたので、うれしかった。
- ・「樹海ではなぜ溶岩の上で植物が生えるのか」などを知ることができました。
- ・富士山に行きました。雨がふったり、晴れたり天気がとても変わりました。



# 幼稚園だより

## ◆運動会に向けて頑張る子どもたち

朝晩は、少しずつ秋の気配が漂う時期になってきましたが、日中は9月中旬になっても、未だに残暑が厳しい毎日が続いています。特に今夏は異常な暑さとなり、35度以上の猛暑日の日数が9月10日までで44日間を記録し、最高気温ランキングで日本一に何度もなるなど暑い桐生市として有名になるほどでした。

子どもたちは、そのような中ですが、10月7日(土)に予定されている運動会に向けて、9月になると練習に力が入っています。特に年長の子どもたちにとっては、幼稚園最後の運動会です。気持ちが盛り上がりがないわけがありません。最高の作品に仕上げるためにリズム遊戯や組み立て体操を、エアコンを効かせて涼しくした遊戯室で、ほぼ毎日練習に励んでいます。

今年の運動会は、4年ぶりに人数制限を解除して開催します。そのため、ご来賓の皆様、おじいちゃん、おばあちゃんを含めたご家族の皆様にも参観いただけます。披露する種目も増え、親子で行う競技やリズム遊戯もあり、保護者による障害物競走もあります。当日、リズム遊戯や競技に一生懸命取り組む2歳児から6歳児までの子どもたちの頑張りを多くの皆様ぜひご覧いただくと幸いです。



運動会に向けて、特訓中!

## ◆「小1プロブレム」の解消に向けて、 幼小の円滑な接続を

9月から10月にかけてのこの時期に、年長の子どもたちは、4月に入学する各小学校の「就学時健康診断」に保護者と出かけて行きます。子どもたちにとって、自分が入学する小学校への初めての登校です。どんな学校だろう?と不安や期待を抱きながらの健康診断となります。小学校側も、初めて4月に入学してくる子どもたちの様子を把握できる機会となります。「〇〇さんは話をよく聴ける」「〇〇さんは、勝手に動き回って心配」などといった具合に、健康面だけでなく行動の様子もしっかりと観察します。

1990年代の後半頃から、小学校に入学したばかりの1年生が、集団行動をとれない、授業中座っていない、話を聴かないなどの状態が数か月継続する、といった問題が出てきました。「小1プロブレム」という言葉を聞いたことがあると思います。小学校では、高学年より低学年で学級崩壊の傾



防災の日～避難訓練  
「あっ、地震」「テーブルの下へ」

向が見られるようになってきた時期です。

小学校では、国語や算数のような座学だけでなく、具体的な活動や体験を重視した生活科を新たに加えるなどの工夫も見られるようになりましたが、すぐに問題解消にはつながりませんでした。小1プロブレムの発生要因として、家庭のしつけが主要因として挙げられていましたが、幼稚園教育では、遊びの中で学ぶことを重視し、自由に動くことが多いのに対して、小学校教育では、教科の目標を達成することが目的で、45分間座りっぱなしになるという「学習方法」の違いや、授業中のおしゃべり禁止・勝手な出歩き禁止などの「生活・学習ルール」の違いなども、要因として挙げられていました。

そこで、幼稚園側はもっと小学校生活の様子を、小学校側は幼稚園の生活の様子を知るべきではないか、という声が広がり、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続のため、幼児と児童の交流の機会を設けたり、幼稚園と小学校の教師による意見交換や、合同研修の機会を設けたりするなど、連携を図ることが重視されるようになりました。さらに、令和4年度から文科省が推進しているのが「幼保小の架け橋プログラム事業」です。義務教育開始前後の年長5歳児から小学校1年生の2年間を「架け橋期」と呼び、その2年間のカリキュラムの工夫・改善や、指導方法・指導内容の検討をしていくという事業です。このように、現在は、架け橋期における子どもたちの学びの連続性がとても重視されています。

今後も、希望をもってスタートした小学校生活が、子どもたちにとって充実したものとなるために、幼小の教師が子どもの状況をしっかりと共有するなど、「円滑な接続」に向けて学校間の連携協力がますます必要となっていきます。

園長 佐野 悦生



お泊まり会  
みんなで踊ったキャンプファイヤー

### 入園児募集中

- ◎2歳・満3歳・3歳児の入園をお待ちしています。
- ◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名
- ◎入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。
- ◎お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。 ☎0277-53-5571  
桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

## 10月(正念)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	日	更衣		
2	月	校内安全点検日 学年主任会⑥		衣替え 安全点検日
3	火	中間試験(～5日) 県校長会	更衣 中間試験(中学～4日・高校～5日)	読み聞かせ
4	水	マイトリー基金抛金日 後援会役員会②	薬物乱用防止教室(中学)	
5	木	授業料・第2回諸費納入日 3年生普通自動車教習開始 関東地区私学教育研究会(茨城)		運動会予行練習
6	金	大掃除		運動会前日準備
7	土	英語検定②一次 3年生ベネッセ・駿台記述模試②	中学3年生修学旅行(～10日)	運動会
8	日			運動会予備日
9	月	スポーツの日		
10	火	日私中高連常任理事会		運動会代休日(預かり保育) 保育料納入日
11	水	探究・LHR 1年生校外学習(大川美術館・桐生市内散策 ～20日)		英語・文字(年長)
12	木	第1回関東高P連役員会(千葉県 ～13日)		体育・文字(年中)
13	金	県高P連東毛地区指導者研究会(太田) 県私学保護者連合会理事会(育英)		
14	土	オープンスクール4(出勤日)	中学校模試 数学検定	開園日(預かり保育)
15	日			
16	月			リズム・線遊び(年少)
17	火	体育祭予行練習		読み聞かせ・文字(年長)
18	水	体育祭	体育祭(高校)	お茶のお稽古④
19	木	体育祭予備日		体育・文字(年中)
20	金	漢字検定②	漢字検定	親子バス遠足
21	土	1・2年ベネッセ実力診断(課題受講者) 3年河合塾全統記述模試③	中学校特別選抜入試	開園日(預かり保育)
22	日	個別入試相談会		
23	月	朝礼 教科主任会⑤ 制服アフターサービス	三越アフターサービス	リズム・線遊び(年少)
24	火	県高校総合文化祭開会式(群馬会館)		ボール投げ教室⑤(年中・年長)
25	水	探究・LHR 3年河合塾全統共通テスト模試(～28日)	体育祭(中学)	英語・文字(年長)
26	木	合唱コンクール(1年生)	合唱コンクール(4年生)	体育・文字(年中)
27	金			
28	土	群馬県民の日 個別入試相談会 後援会研修旅行		
29	日			
30	月	出欠統計提出		リズム・線遊び(年少)
31	火		中学 合唱コンクール	ハロウィンパーティ

**新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況により予定が変更されることがあります。**



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

### ■樹徳コミュニティセンター「み法」

無料相談会

(働き方改革、労働問題、ハラスメント、年金等)

10月7日(土) 10:00～15:00

杉戸健二さん

## 11月(正定)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	水	探究・LHR 日私中高連帯任事会/私学振興全国大会 校内安全点検日 3年ベネッセ駿台大学入学共通テスト模試(～3日)		安全点検日 避難訓練(火災) 英語・文字(年長)
2	木	球技大会抽選		体育・文字(年中)
3	金	文化の日 1・2年ベネッセ総合学力テスト		文化の日
4	土			開園日(預かり保育)
5	日	英語検定②二次	第一期中学校入試	
6	月	2年生修学旅行事前指導①(1・2時限) 授業料納入日 学年主任会⑦ マイトリー基金拠金日		教育実習生受け入れ(～17日) リズム・線遊び(年少)
7	火			さつまいも掘り 読み聞かせ
8	水	校内球技大会 中高協会定例会(関東学園)	校内球技大会(高校)	文字(年長)
9	木	全国私学教育研究集会(香川 ～10日)		体育・文字(年中)
10	金	書写技能検定②		保育料納入日
11	土			開園日(預かり保育)
12	日			
13	月	朝礼 運営委員会④ 制服アフターサービス	三越アフターサービス	リズム・線遊び(年少)
14	火			卒園・修了写真撮影 文字(年長)
15	水	探究・LHR マナーアップ運動③ 修学旅行事前指導②		七五三祝い お茶のお稽古⑤ 英語
16	木	期末試験(～21日)	期末試験(高校、～21日)	体育・文字(年中)
17	金	青少年育成研修会(盛岡市) 県高P連指導者研究集会		焼き芋会
18	土			開園日(預かり保育)
19	日			
20	月	教科主任会⑥		私立保・幼・認可園長事務連絡会議 リズム
21	火			ボール投げ教室⑥(年中・年長) 読み聞かせ・線遊び(年少)
22	水	探究・LHR 3年河合塾全統プレ共通テスト模試(～25日)		英語・文字(年長)
23	木	勤労感謝の日		
24	金			
25	土			開園日(預かり保育)
26	日			
27	月	2年生修学旅行直前指導 平和学習(1年生) 3年SS・K・S組三者面談(～12/1) 金融教育(3年生)	平和学習(4年生)	リズム・線遊び(年少)
28	火	2年生修学旅行(～12/1)	修学旅行(5年生、～12/1)	
29	水	探究・LHR		英語・文字(年長)
30	木	1年生進路ガイダンス 出欠統計提出		体育・文字(年中)



樹徳高等学校

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号  
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

樹徳中学校

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12  
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

樹徳幼稚園

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475  
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく